

〈伝記ガイド〉 明治を生きた人々

I 政治・経済

A5・660頁 定価(本体12,500円+税)
ISBN978-4-8169-2713-3 2018年4月刊行

II 学術・文化

A5・730頁 定価(本体12,500円+税)
ISBN978-4-8169-2714-0 2018年4月刊行

日外アソシエーツ 編



分野別に2,700人の 伝記資料を一覧

- 「明治150年」のメモリアル・イヤーを迎え、関心が高まっている明治時代の人物を知るための読書案内ツールです。
- 明治時代に活躍した人物2,743人を分野別に収録。人名見出しのもと生没年とプロフィールを記載、人物を深く知るための伝記・日記・書簡集・資料集・人物論などの図書および雑誌特集記事の情報を収録しました。
- さらに人物を顕彰する記念館・記念碑の名称・所在地も紹介しています。

■ 収録人物例 ■

I 政治・経済	西郷隆盛 (1827~1877)	政治家、陸軍大将・元帥
	山本覚馬 (1828~1892)	会津藩士、政治家
	サトウ,E.M. (1843~1929)	イギリスの外交官
	広岡浅子 (1849~1919)	女性実業家
	クーデンホーフ光子 (1874~1941)	伯爵夫人
II 学術・文化	原三溪 (1868~1939)	実業家、美術収集家
	夏目漱石 (1867~1916)	小説家、英文学者
	荻野吟子 (1851~1913)	初の女性医師
	樋口一葉 (1872~1896)	小説家、歌人
	クラーク,W.S. (1826~1886)	アメリカの教育家
	津田梅子 (1864~1929)	女子教育者
	内村鑑三 (1861~1930)	キリスト教思想家……etc.

■ 原 三溪 はら・さんけい

内容見本

1868~1939 実業家、美術収集家、茶人。本名は富太郎。富岡製糸場を経営。美術品と古建築の収集でも知られた。

○三溪記念館(神奈川県横浜市中央区) 原三溪によって公開された庭園である三溪園内にあり、原三溪に関する資料、自筆の書画、ゆかりの作家作品、美術工芸品、臨春閣の障壁画などを展示する記念館。

◇横浜開港時代の人々 紀田順一郎著 神奈川新聞社 2009.4 ①978-4-87645-438-9
*開港期の横浜で明の災をあげながら生き抜いた人々を、横浜に生まれ育った著者が、豊かな知識と資料の掘り起こしによって、親しみをこめた筆致で描く傑作伝。

◇原三溪翁伝 藤本実也著 三溪園保勝会 横浜市芸術文化振興財団編 思文閣出版 2009.11

◇三溪園の建築と原三溪 西和 2012.11 ①978-4-89660-214-2
*横浜市中区本牧にある三溪園は、生糸貿易で財を成した原三溪(富太郎)が、自邸を開放した庭園である。園内には、

「I 政治・経済」より

■ 新島 八重 にいじま・やえ

1845~1932 教育家。会津若松城の戦いで銃をもって戦う。同志社の経営に参加、伝道と女子教育に尽力。

◇新島八重子回想録 新島八重子著；同志社社史資料センター編 同志社大学出版部 2012.9 ①978-4-924608-50-4

◇八重と覚馬—会津の兄妹の幕末明治 河合敦著 廣済堂出版 廣済堂新書 2013.2 ①978-4-331-51691-1
*会津戦争をくぐり抜けた異端の兄妹は、激動の時代をまっすぐ、鮮やかに駆け抜けた。“ハンサム・ウーマン”新島八重と八重が慕った兄・覚馬の幕末維新。

◇「幕末のジャンヌ・ダルク」新島八重子 藤田ラマ「八重の桜」放送開 2013.5 通号885) Kadokawa 2013.5

「II 学術・文化」より

2018.4

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■ 貴店名	注文書	〈伝記ガイド〉 明治を生きた人々 I 政治・経済 定価(本体12,500円+税) ISBN978-4-8169-2713-3	 9784816927133
		〈伝記ガイド〉 明治を生きた人々 II 学術・文化 定価(本体12,500円+税) ISBN978-4-8169-2714-0	 9784816927140